

活動中です！

## 『大山恵みの里づくり』プロジェクト (No.2)

1月12日(木)に開催した第3回プロジェクト会議では、3つの専門部会に分かれてテーマの検討に入りました。部会検討の時間が短く、十分な議論を尽くすことはできませんでしたが、それぞれに熱のこもった話し合いとなりました。

### 【観光交流部会】

観光客の利便性に配慮し、行楽シーズンにあわせて、道路案内標識や観光パンフレット類を点検し、必要に応じて作ったほうがよいといった意見が出されました。

### 【ブランド産品部会】

商品開発、有利販売という大きなテーマで話し合いました。町内にたくさんある特産品を「大山〇〇」といった同一ブランドで販売することや、特産品を販売するための場所づくりなどについて意見が出ました。

まずは商品をつくる人と売る人とのネットワークを構築することが最優先課題であるとの方向性を確認し、商品開発や販売方法に

については関係者を組織化して具体的に検討すべきであるといった意見が出されました。

### 【大山価値向上部会】

大山の価値を高めるためには、私たちの町のシンボルである「大山」及び大山町のすばらしさをもっと多

くの町民に知ってもらい、そのことを誇りとして情報発信することが必要であるという理念を確認し、話し合いに入りました。

具体的には、大山町の豊かな自然や歴史、文化、食人、遊び等は大山の恵み(「町の宝」)を学び楽しむ『大山学』の取り組みを急ぐことです。まずは、『大山学』を提唱するための素材収集として町内のお宝募集を継続し、この大山価値向上部会を中心にして「大山の恵みお宝100選(仮称)」を選定しようということになりました。

また、私たちの日常生活の中にも観光資源があります。食べ物や伝統行事、農林水産業の仕事(作業内容)や地域の遊びなどをもう一度見つめ直し、旅行会社との連携を密にして、できることから実践することが大切であるということを確認しました。



プロジェクト全体会議のようす

## 『わが町のお宝』を紹介します!!

### 前部落の木造阿弥陀如来坐像

この像は、寄木造りで、技巧や均整のとれたつくりから、中央仏師の手によるものとみられます。保存状態も比較的良く、平安時代後期の仏像として優品で、貴重なお宝です。

かつて阿弥陀さんのお祭りをするなど昔から愛され続けています。平成6年4月に、県の保護文化財に指定され、部落のお宝であったものが町の宝となり県の宝となりましたといえます。

なぜ前部落にあるのか定かではありません。ただ、大山寺阿弥陀堂には国の重要文化財として知られる丈六の阿弥陀三尊像(天承元年(1131年)良圓作)があります。このことから、当時の大山周辺は阿弥陀信仰が盛んで、その影響から祀られているのではないのでしょうか。

現在は、前部落広場のお堂に祀られており、普段誰でも格子越しに見ることができます。お堂内見学を希望の場合は、事前前部落区長に申し込みが必要ですよ。

毎年3月15日には、住民が集

2006年も始まったばかり、年の始めに永久に無限の恵みをもたらす無量光如来とも呼ばれる阿弥陀如来を拝顔してみてはいかがでしょうか。



前部落広場の阿弥陀さん